

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6 年 3 月 30 日

公表: 令和 6 年 4 月 1 日

事業所名 希望の丘蒲郡

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		部屋の中で集中して取り組める場所を確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日必ず清掃チェック表に記入して行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		△	その日に話せない時は次の日に伝えるようにしている。 振り返りの時間をしっかり取り、次への課題を出し合っていきたいと思う。 その日の振り返りをもっとこまめに密にしていきたい。(全体・個別で)	多機能型事業所のため、職員全員が集まって話し合いや振り返りをする時間を取ることが難しいですが、子どもの理解とよりよい支援を目指してPDCAサイクルを意識して行っています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○	開所1年目なので来年度より評価をもとに改善していく。 令和5年度開所の為来年度から行う。 保護者等の意向などの把握がしっかりできていないのでもっと知りたいと思う。	アンケートでいただいたご意見、集計等を職員間で把握、検討をし、業務改善につなげていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	開所1年目なので今年のを来年4月に公開していく。 令和5年度開所の為来年度から行う。 1年目ということで、ホームページにはまだ公開できておらず今後していく予定。	今回が第1回目となります。今後年に1度、事業所向け自己評価及び保護者向け評価を実施し、その都度ホームページにて公表していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価が行えていない。	現在外部評価は受けていないので、今後検討します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修の事項を提示し、可能であれば参加している。 事業所内会議をする事で資質向上を目指している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時やモニタリングの際に保護者のニーズをよく聞き、アセスメントをした上で職員で相談して計画を立てている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	△	標準化されたアセスメントツールの内容が分からなかったので把握したいと思う。	標準化されたアセスメントツールよりも、目の前の子ども一人ひとりの発達や特性を重視した支援をしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		家族のニーズを聞き、児に必要なと思う項目を選択している。支援内容も職員で話し合っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		季節に合った活動内容を話し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		単発で終わるのではなく、プログラムが広がっていくように工夫している。 話し合うことで固定化せずに進められている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個の自立課題に沿ったものと一緒に活動できるものを考えている。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	△	必ずできていない。 打ち合わせがもう少し事前に行えるようになっていきたい。 もっと密に行っていきたい。	出勤時間によっては一部職員には口頭伝達になり、きちんと共有できていないこともあります。ICTを活用したり、書面に残していつでも確認できるようにするなど、全職員の把握につながる方法を考え行っています。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	時間的に会議としてきちんとはできていないが、振り返りをして共有している。 必ず振り返りができているとは言えないが、気になる支援があった時は話し合いの時間を持っている。 必ずはできていないので時間を作り行っていきたい。 その話し合いができなかった時は、後日気になったことを伝えるようにしている。	退勤時間が異なる職員にも支援終了後に声をかけ、気付きや伝達事項などの聞き取りをするようにしていますが、徹底はできていないと感じます。振り返りは次回支援時の大切な情報となるため、できる限り行うよう努めます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	徹底まではしていないので今後記録をし支援に活かしていきたい。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	対象者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	対象者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	△	連携可能なこども園とは毎月会議を行い、支援計画について話し合っている。 関係機関と連携会議を定期的に行って理解を深めている。	移行支援にはつながっていませんが、希望の丘に通いながら就園をする利用児に対して、就園先のこども園と様子の共有や個別支援計画についての話し合いを行い、相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	分からない。 来年度小学校に入る子どもがいるので、今後行っていきたい。	今後、利用児の様子を見ながら移行支援につながるか検討をし行っていきたいと思っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	連絡をいただき研修を受けに行ったり、今後どのような会を受けたいかというアンケートを提出している。 研修がある時は施設から1名出席して内容を共有している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	施設内にある小規模保育事業の未満時の子どもたちと交流している。 同じ施設内に小規模保育事業があるため、共に活動できる機会がある。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	△	分からない。 市の子ども部会に参加している。	市の子ども部会に参加して得た内容を職員間で共有していきます。(同時に参加の認識につなげます)
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	送迎の際に活動や遊びの様子を見てもらうこともある。 お迎えの時に会話の中で伝えられるように気にかけている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	行っているつもりだが、まだ自信がない。	プログラムとしての支援は行っていません。 必要な方へはその都度一緒に考えたり、施設等で行っている支援方法をお伝えしたりしています。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時にいつでも相談ができるようにしている。 要望があれば事業所内相談を行っている。 自分には行ってないので今後必要に応じて一緒に考えていきたい。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		△	今年度2回開催した。 保護者同士の連携がなかなかできていないので、土曜日のイベントで深めていけるようにしたい。 父母の会を設置していない。	開所してから2回しか行っていないので、来年度はもう少し交流を深める機会を作りたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		クラウドサービスの導入により、活動内容や連絡を入れている。 活動記録をもう少しこまめに伝えていけるといいと思う。	クラウドサービスを利用して発信していますが、保護者の受信状況は把握できていないので、その他の方法でも伝えることを検討していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		子どもの情報を外部に話さないよう、職員に徹底している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		○	分からない。 今後は行いたいと思っている。	見学はいつでも受け入れを行っていますが、事業所の行事への招待等については行っていませんので、どのような形なら実施が可能か今後検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時に重要事項説明書と入所のお知らせの冊子にて周知している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	△	定期的にもう少し開催してもいいのかなと思う。 避難訓練等の訓練に参加できていない。 訓練時にいたことがないので、今後非常時に対応できるよう訓練に参加したり連絡を共有していく。	利用時間や勤務時間の関係で、子ども職員も全員は経験できていないという状態です。毎回とは言いませんが年間を通して経験が持てるよう、開催頻度や時間帯などを検討していきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		分からない。 会議などで共有している。	職員の目に毎日触れる所へ掲示しています。 職員みんなで検討し、定期的に内容の確認・更新をしていきたいと思います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		分からない。 現在行っていないので、話し合っ確認したい。 身体拘束に当たる利用児が現在いない。	現在対象者になり得る利用児はいませんが、身体拘束に関する職員の知識向上には努めていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。